学校番号	1004

平成３１年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各選択種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	レポート 練習計画 等	技能観察 等	レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	体作り運動	体作り運動	○	○	○		a体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができ、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって運動を実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:自己の課題に応じて、運動の取り組みを工夫している。	受講態度の観察
	陸上	短距離走	○	○			a:目標を設定して進んで取り組むことができる。また、仲間と協力して練習に取り組む。 b:自分にあった目標記録や課題の解決の仕方について、説明している。	受講態度の観察 技能観察
	球技	ソフトボール バスケットボール バレーボール	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、自己責任を果たそうとするなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって運動を実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じた技を身に付けている。 d:ルールや運動の特性を理解し、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート

	体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	a:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、ディスカッションなどの学習に主体的に取り組もうとしている。 b:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。 d:各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを話し合ったり、書き出したりしている。	受講態度の観察 体育理論のテスト
二学期	球技	・テニス ・バドミントン ・ハンドボール	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート

	体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	a:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、ディスカッションなどの学習に主体的に取り組もうとしている。 b:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。 c: d:ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを話し合ったり、書き出したりしている。	受講態度の観察 体育理論のテスト
三学期	球技	・サッカー ・テニス ・バスケットボール	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート

	体育理論	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○	a:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、ディスカッションなどの学習に主体的に取り組もうとしている。 b:運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。 d:スポーツ振興のための、施策と諸条件について、理解したことを話し合ったり、書き出したりしている。	受講態度の観察 体育理論のテスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:運動の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。